

## 夢のつばさプロジェクト

### 2024年夏キャンプ 学生報告書

【日程】2024年8月3日(土)～5日(月)

【開催地】(株) ブリヂストン保養所 奥多摩園(青梅市)

【参加者】子ども：10名(中学生3名、高校生6名、社会人1名)

学生スタッフ・OB/OG含む(社会人を含む)：28名(途中入れ替わりも含む)  
社会人スタッフ/協力者8名

#### ◆2024夏キャンプについて

今回で夢のつばさの夏キャンプは11回目の開催となりました。夢のつばさプロジェクトが子どもたちの中でも大きな存在になっていることを実感することができる3日間でした。このようにキャンプを開催することができるのは、変わらずご支援、ご協力いただいている企業、個人の皆さまのおかげです。誠にありがとうございます。

今回は「花火」や「夏祭り」など夏らしい内容を沢山盛り込んだ企画を行いました。子どもたちやスタッフが交流しながら楽しんで企画に取り組んでいる姿が印象的でした。子どもたちが施設の方に積極的に挨拶をしたり、自由時間に自主的に勉強に励んだりなど成長を感じる場面が数多くある3日間でした。

以下にキャンプの詳細をご報告いたします。

#### ◆スケジュール・概要

	1日目(8月3日)	2日目(8月4日)	3日目(8月5日)
午前	送迎	夏祭り	閉会式
午後	開会式 脱走中	勉強時間 自由時間	送迎
夜	花火	岩城先生ワークショップ	

## <1日目>

### ◆開会式・脱走中・花火

開会式ではキャンプのルール説明や自己紹介をした後、先生方から挨拶をいただきました。その後一つ目の企画である「脱走中」を行いました。これはあらかじめ書かれているスタッフに関する情報がどのスタッフのものであるか推理するゲームです。いつも一緒にいるスタッフにも知らない一面があることを知って、



さらに仲を深めることができました。初めて会う学生スタッフにも子どもたちから積極的に話しかける様子が見られ、雰囲気の良いキャンプのスタートになりました。

このキャンプ中にそれぞれ仲間の「できる」ことを見つけ出して、大きな布地に書いていく「Canバス」が用意され、まず『夢のつばさプロジェクト』の題字をみんなで記入しました。

夕食後に「花火」を行いました。子どもたちもスタッフも和気あいあいと花火を楽しむ様子が見られ、次の日の企画である「夏祭り」に向けた素敵な前夜祭となりました。

## <2日目>

### ◆夏祭り

2日目には「夏祭り」を行いました。「焼きそば」「フランクフルト・トウモロコシ」「イカ焼き」の3つのグループに分かれ、調理から販売まで行いました。価格設定や販売方法などそれぞれのグループの個性があふれていました。なかでも綿あめづくりはちょっとコツが必要で、夢中になって何度も作りに来る様子が印象的でした。時間ギリギリまで夏祭りを思う存分楽しむ様子が見られ素敵な夏の思い出を作ることができました。



#### ◆勉強時間

2日目の朝食後に1時間ほど勉強時間をとりました。学校の宿題などそれぞれ勉強道具を持参し、子どもたち同士で教えあったり、スタッフから教えてもらったりなど集中して取り組んでいました。今回は受験生も多いことから、遊びとのメリハリをつけて真剣に勉強に取り組んでいる姿が見られました。

#### ◆岩城先生によるワークショップ

二日目の夕食後には東京電機大学の岩城先生によるワークショップを行いました。張力の統合を意味する「テンセグリティ」という構造を学ぶため、ストローと輪ゴムを用いて模型を作りました。単純な組み合わせで美しく強い構造ができあがることに、みなびっくりしていました。苦戦する子どもも、さらに難しい模型作りに取り組む子どももそれぞれが主体的に取り



組む様子が見られました。出来上がったテンセグリティの模型を壊さないように持ち帰る様子が印象的でした。

#### <3日目>

#### ◆閉会式

3日目の朝食後にセミナールームで閉会式を行いました。閉会式では3日間の思い出をまとめたスライドショーをみんなで見ただ後、子どもたち同士や子どもたちからスタッフへメッセージを書く時間を設けました。子どもたちの「できる」を詰め込んだ「Canバス」も完成し、キャンプの集大成を飾ることができました。時間を過ぎてもメッセージカードを書き続ける子どもたちの様子からスタッフと子どもたちや子どもたち同士のつながりをよりいっそう感じることができました。このつながりを今後も守っていくため、一同力を合わせて活動していく所存です。

夢のつばさプロジェクト学生代表 お茶の水女子大学2年 五十嵐美咲

